

本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2018年10月31日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約し、11月9日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

サノフィ、2018年度第3四半期に成長の回復を確認

	2018年度 第3四半期	前年同期比	前年同期比 (CER)	2018年度 年初から9カ月間	前年同期比	前年同期比 (CER)
IFRS 純売上高(為替調整前)	€9,392m	+3.7%	+6.3%	€25,466m	-3.5%	+2.1%
IFRS 純利益(為替調整前)	€2,274m	+45.7%	-	€4,052m	-51.1% ⁽²⁾	-
IFRS 1株当たり純利益 (為替調整前)	€1.82	+46.8%	-	€3.25	-50.7% ⁽²⁾	-
事業純利益 ⁽¹⁾	€2,299m	+7.6%	+10.3%	€5,455m	-2.9%	+4.2%
1株当たり事業純利益 ⁽¹⁾	€1.84	+8.2%	+11.2%	€4.37	-2.0%	+5.2%

2018年度第3四半期の売上高⁽³⁾は、新興市場の堅調に支えられ、スペシャルティケアとワクチンが牽引

- 純売上高は、調整前 3.7%増(CER ベースで 6.3%増⁽³⁾、CER/CS ベース⁽⁴⁾で 3.4%増)の 93 億 9,200 万ユーロ
- サノフィジェンザイムの売上高は、免疫および希少血液疾患製品群に牽引され、調整前 36.1%増(CER/CS ベース⁽⁴⁾で 14.9%増)
- ワクチンは、Pentaxim[®]の回復に支えられ、売上高が 8.2%増となり、堅調に成長
- コンシューマー・ヘルスケア(CHC)の売上高は、すべての地域と主要カテゴリーで成長し、4.1%増
- 糖尿病および循環器(DCV)⁽⁵⁾GBUの売上高は 12.1%減、グローバル糖尿病製品群の売上高は 9.2%減(米国以外での売上高は 4.7%増)
- 新興市場の売上高⁽⁶⁾は、ワクチンと、中国における医薬品の堅調な成長に支えられ、10.4%増

2018年度第3四半期における1株当たり事業純利益は新たな成長期間の始まりを反映

- 2018年度第3四半期の1株当たり事業純利益⁽¹⁾は、CER ベースで 11.2%増の 1.84 ユーロ
- 2018年度第3四半期のIFRS 1株当たり純利益は、EUでのジェネリック医薬品に関連した純キャピタルゲイン 5 億 3,700 万ユーロを反映し、46.8%増の 1.82 ユーロ
- 事業営業利益は CER ベースで 6.4%増
- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2018年度通年の1株当たり事業純利益⁽¹⁾を CER ベース⁽⁷⁾で 4%~5%増と予測。通貨変動による2018年度1株当たり事業純利益への影響を10月の平均為替レートで-6%程度と予測

研究開発におけるイノベーションを維持する上での重要な成果

- Dupixent[®]が中等症から重症までの喘息の治療薬として米国で承認を取得
- Libtayo[®]が CSCC⁽⁸⁾の治療薬として米国で承認を取得
- Cablivi[®]が aTTP⁽⁹⁾に関して EU で承認を取得し、米国で優先審査対象に指定される
- プラルエント[®]の ODYSSEY OUTCOMES 試験の結果が審査に向けて米国食品医薬品局(FDA)に受理される
- デュピクセント[®]について、青年期患者の中等症から重症のアトピー性皮膚炎の治療薬として FDA と EMA に申請

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディケールのコメント:

「第3四半期に、サノフィは新たな成長段階に入りました。スペシャルティケアと新興市場では業績の2桁成長を達成し、ワクチンは1桁後半の売上高増をもたらしました。さらに、Libtayo[®]、Cablivi[®]、および喘息向けのデュピクセント[®]の発売を受けて、今後スペシャルティケア事業の拡大が見込まれます。当四半期に実証された根底にある勢いをもとに、サノフィは今、成長に向けて最適な位置付けにあります」

(1) 当カンパニーの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です(定義は付録8(英語版プレスリリース)を参照)。2018年度第3四半期の連結損益計算書については付録3(英語版プレスリリース)に、IFRS 純利益(為替調整前)から事業純利益への調整については付録4(英語版プレスリリース)に記載しています。(2) 動物用医薬品事業の売却益を除くと、年初から9カ月間のIFRS 純利益は6.6%増、年初から9カ月間のIFRS 1株当たり利益は7.6%増。(3) 特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(付録8(英語版プレスリリース)を参照)。(4) CS(constant structure): Bioverativ社の買取について調整を実施。(5) DCV: 糖尿病および循環器 (6) 定義は8ページを参照。(7) 2017年度の1株当たり事業純利益は5.52ユーロ。(8) 皮膚扁平上皮がん (9) 後天性血栓性血小板減少性紫斑病

2018 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間のサノフィ売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高の変動率は為替レート変動の影響を排除して⁽¹⁰⁾算出しています。

2018 年度第 3 四半期におけるカンパニー売上高は、調整前ベースで 3.7%増の 93 億 9,200 万ユーロでした。アルゼンチン・ペソ、ブラジル・リアル、およびトルコ・リラの為替レートの変動により、2.6 ポイントの悪影響を受けました。カンパニー売上高は、CER ベースで 6.3%増でした。

年初から 9 カ月間におけるカンパニー売上高は、調整前ベースで前年同期比 3.5%減の 254 億 6,600 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、5.6 ポイントの好ましくない影響を受けました。カンパニー売上高は、CER ベースで 2.1%増でした。

グローバルビジネスユニット

以下の表は、グローバルビジネスユニット (GBU) 別の売上高をまとめたものです。新興市場におけるスペシャルティケア、糖尿病および循環器の売上高は、ジェネラルメディスンおよび新興市場 GBU に計上されます。

GBU 別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2018 年度 第 3 四半期	前年同期比 (CER)	2018 年度 年初から 9 カ月間	前年同期比 (CER)
サノフィ・ジェンザイム(スペシャルティケア) ^(a)	1,904	+36.1%	5,172	+28.6%
糖尿病および循環器 ^(a)	1,146	-12.1%	3,341	-14.5%
ジェネラルメディスンおよび新興市場 ^(b)	3,160	+0.6%	9,896	-1.6%
医薬品合計	6,210	+6.1%	18,409	+2.3%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	1,113	+4.1%	3,466	+3.3%
サノフィパスツール(ワクチン)	2,069	+8.2%	3,591	-0.3%
純売上高合計	9,392	+6.3%	25,466	+2.1%

(a) 新興市場の売上高は含まず一定義は 3 ページを参照; (b) 糖尿病および循環器とスペシャルティケアの新興市場の売上高を含む

グローバル製品群

以下の表は、2018 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間のグローバル製品群別売上高をまとめたものであり、比較しやすいように新興市場における売上高を含めています。英語版プレスリリース付録 1 に、GBU 別および製品群別の調整値をまとめています。

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2018 年度 第 3 四半期	前年同期比 (CER)	先進国市場	前年同期比 (CER)	新興市場	前年同期比 (CER)
スペシャルティケア	2,160	+34.6%	1,904	+36.1%	256	+26.3%
糖尿病および循環器	1,536	-6.3%	1,146	-12.1%	390	+14.2%
エスタブリッシュ処方製品	2,131	-3.2%	1,220	-9.1%	911	+5.5%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	1,113	+4.1%	731	+3.8%	382	+4.6%
ジェネリック医薬品	383	-5.6%	222	-9.8%	161	0.0%
ワクチン	2,069	+8.2%	1,640	+5.4%	429	+19.8%
純売上高合計	9,392	+6.3%	6,863	+4.7%	2,529	+10.4%

製品群別純売上高 (単位:100 万ユーロ)	2018 年度 年初から 9 カ月間	前年同期比 (CER)	先進国市場	前年同期比 (CER)	新興市場	前年同期比 (CER)
スペシャルティケア	5,941	+26.9%	5,172	+28.6%	769	+17.5%
糖尿病および循環器	4,531	-8.2%	3,341	-14.5%	1,190	+14.7%
エスタブリッシュ処方製品	6,717	-5.9%	3,848	-14.5%	2,869	+7.7%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	3,466	+3.3%	2,283	0.0%	1,183	+9.7%
ジェネリック医薬品	1,220	-2.0%	708	-5.6%	512	+2.8%
ワクチン	3,591	-0.3%	2,593	+1.5%	998	-4.3%
純売上高合計	25,466	+2.1%	17,945	-0.4%	7,521	+7.9%

(10) 財務指標の定義は、英語版プレスリリース付録 8 を参照

地域別売上高

サノフィ売上高 (単位:100 万ユーロ)	2018 年度 第 3 四半期	前年同期比 (CER)	2018 年度 年初から 9 カ月間	前年同期比 (CER)
米国	3,668	+5.5%	8,345	-1.8%
新興市場 ^(a)	2,529	+10.4%	7,521	+7.9%
－アジア	1,028	+10.3%	3,021	+9.6%
－中南米	604	+12.6%	1,902	+10.1%
－アフリカおよび中東	601	+8.1%	1,631	-0.2%
－ユーラシア ^(b)	267	+8.9%	864	+12.5%
欧州 ^(c)	2,334	+1.9%	7,092	+0.8%
その他の国 ^(d)	861	+9.4%	2,508	+1.4%
－日本	412	+6.2%	1,287	-2.2%
サノフィ売上高合計	9,392	+6.3%	25,466	+2.1%

(a) 米国、カナダ、西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコを除く各国

(b) ロシア、ウクライナ、ジョージア、ベラルーシ、アルメニア、およびトルコ

(c) 西欧・東欧諸国(ユーラシアを除く)

(d) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコ

第 3 四半期における米国の売上高は、5.5%増の 36 億 6,800 万ユーロでした。これは、糖尿病(24.3%減)とセベラマーの売上高減少によってデュピクセント®と Aubagio®の好業績、および Elocate®と Alprolix®の連結売上高が相殺されたことを反映しています。年初から 9 カ月間における米国の売上高は、1.8%減の 83 億 4,500 万ユーロでした。

第 3 四半期における新興市場の売上高は、主に糖尿病(13.4%増)、希少疾患(28.1%増)、オンコロジー(13.9%増)、ワクチン(19.8%増)製品群に牽引され、10.4%増の 25 億 2,900 万ユーロとなりました。第 3 四半期におけるアジアの売上高は、中国の医薬品およびワクチン事業の堅調な成長(17.7%増の 6 億 4,400 万ユーロ)を反映し、10.3%増の 10 億 2,800 万ユーロとなりました。第 3 四半期における中南米の売上高は、12.6%増の 6 億 400 万ユーロとなりました。第 3 四半期におけるブラジルの売上高は、糖尿病の売上高減少の影響を受けて、4.1%増の 2 億 2,800 万ユーロとなりました。第 3 四半期におけるアフリカおよび中東の売上高は、8.1%増の 6 億 100 万ユーロとなりました。第 3 四半期におけるユーラシア地域の売上高は、トルコの高成長に支えられ、8.9%増の 2 億 6,700 万ユーロとなりました。第 3 四半期におけるロシアの売上高は、0.6%増の 1 億 4,500 万ユーロでした。年初から 9 カ月間における新興市場の売上高は、7.9%増の 75 億 2,100 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における欧州の売上高は、主にワクチン(10.1%増)およびデュピクセント®とプラレエント®の展開によってエスタブリッシュ処方製品(2.9%減)の売上高減少が相殺され、1.9%増の 23 億 3,400 万ユーロとなりました。年初から 9 カ月間における欧州の売上高は、0.8%増の 70 億 9,200 万ユーロでした。

第 3 四半期における日本の売上高は、ワクチンおよび希少血液疾患製品群の牽引によって、プラビックス®におけるジェネリック医薬品との競合の影響が相殺され、6.2%増の 4 億 1,200 万ユーロとなりました。年初から 9 カ月間における日本の売上高は、2.2%減の 12 億 8,700 万ユーロでした。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べる記述ではありません。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とサノフィが外部成長の機会から利益を得て、関連する取引を完了し、規制当局の認可を取得する可能性に付随する不確実性、知的財産権やそれに関連した進行中または係争中の訴訟、ならびにそのような訴訟の最終結果に関連するリスク、為替レートと実勢金利のトレンド、不安定な経済情勢、コスト削減イニシアチブとその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2017 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。